

# オーケストラ ファンド (安定コース/成長コース)

追加型投信／内外／資産複合

Orchestra Fund

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■ お申し込み・目論見書のご請求は

■ 設定・運用は



商号等：キャピタル アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第383号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社ホームページ HP :  
[www.capital-am.co.jp](http://www.capital-am.co.jp)

キャピタル アセットマネジメント 検索 ▶



# 「オーケストラ ファンド」の特色

1. 世界中のファンドを厳選し、「オーケストラ」<sub>1)</sub>を構築します。
2. 国際分散投資を行い、分散投資効果を追求します。
3. オルタナティブへの投資を通じ、下振れリスクの抑制を目指します。
4. 2つのコースから選べます。
5. ファンド・オブ・ファンズ方式<sub>2)</sub>で運用します。
6. 運用に当たっては、しさん設計株式会社から投資助言を受けます。

1) 「オーケストラ」とは、管弦楽を演奏する楽団を意味し、当ファンドの特色を表現しています。

2) ファンド・オブ・ファンズ方式とは、複数の投資信託に投資して運用を行うしくみです。

## 本資料でのデータと計算について

- ✓ 証券、指数、為替のデータはBloombergより取得。
- ✓ 世界株式指数はiシェアーズ MSCI オールカントリーワールド・インデックス（ACWI）ETF。
- ✓ 米国株式指数は SPDR S&P500 ETF。
- ✓ 米国REITはiシェアーズ コア米国REIT ETF。
- ✓ 国内株式は配当込みTOPIX指数。ハイ・イールド債券はiシェアーズ iBoxx ハイ・イールド社債ETF。先進国債券はバンガードトータル債券市場ETF。
- ✓ 世界債券は上記先進国債券及びSPDR Bloomberg インターナショナル国債ETFを各50%保有したものとして計算。
- ✓ 新興国債券はiシェアーズ JPモルガン ドル建てEM債券UCITS ETF。
- ✓ すべてドル建ETFを円換算（期間は2008年3月～2025年7月）。

本資料では組入れ各ファンドを略称で記しています。正式な名称はP20をご参照下さい。



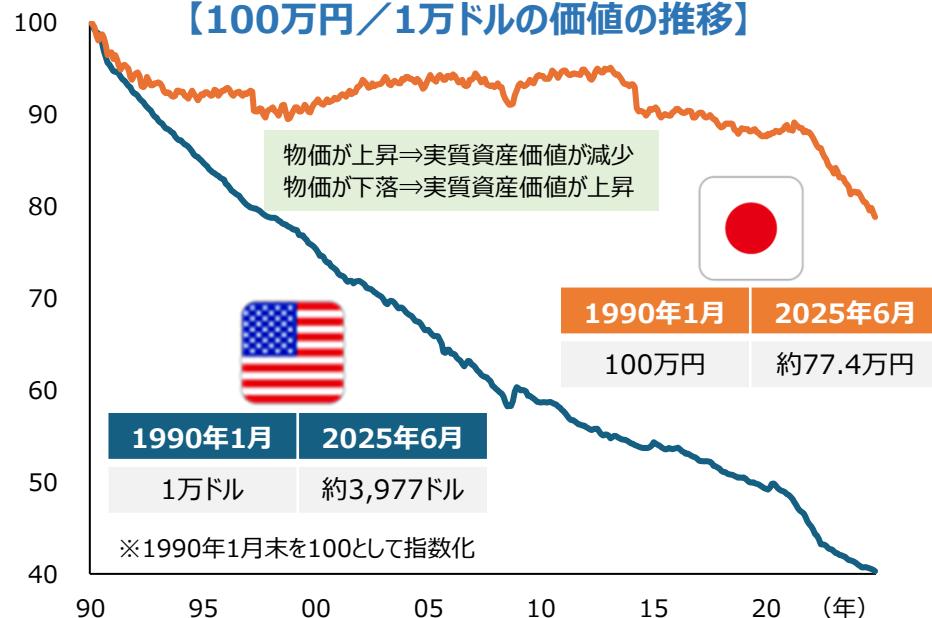
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# インフレ対策として、資産運用は重要です

- 現金・預金価値の目減りを防ぐために、年率3~4%程度を目指す資産運用が求められています。
- お金は自然には増えないため、物価上昇が続くと、従前と同じ価値のモノやサービスと交換することができなくなります。

## 日本もインフレ時代が到来

【100万円／1万ドルの価値の推移】



- 1990年以降毎月の物価上昇率を調べました。物価が上昇すればその分だけ実質資産価値（インフレ率を差し引いた資産価値）が目減ります。
- 米国は長期にわたり物価が上昇しており、資産の実質価値は継続して目減りしています。日本は物価が下落する局面（デフレ）が長かったため、実質資産価値の目減りが限られていきました。
- しかし、日本も物価が上昇するインフレ時代となったことで、実質資産価値の目減りが加速しています。

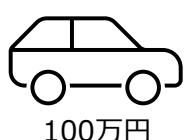
(注) データは1990年1月～2025年6月（月次）。

(出所) e-Stat、米連邦準備制度理事会（FRB）のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

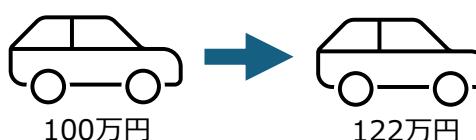
上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 物価上昇によるお金の価値の目減り

【現在】

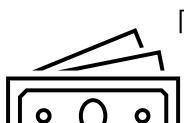


【10年後】



「年2%の物価上昇率」

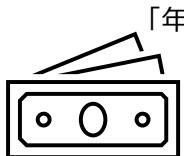
物価上昇により  
同じ商品の価格は  
約122万円になる



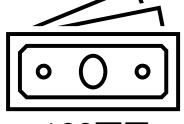
「現金のまま」



お金は増えず、以前と同  
じ価値の商品を  
購入できない



「年0.3%の預金」



お金は増えたが  
物価上昇に追いつかず、  
同じ商品を購入できない

(出所) キャピタル アセットマネジメント作成



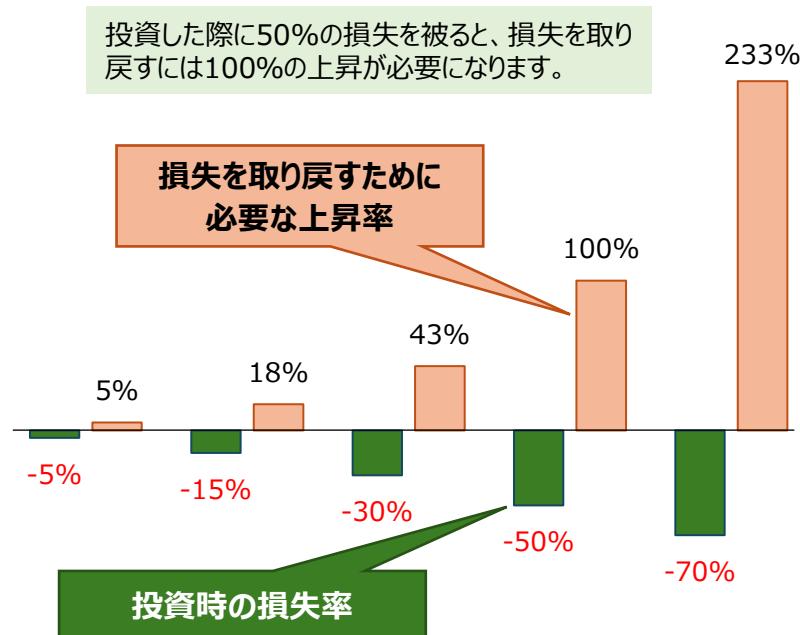
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 資産価値が大きく下落すると損失の挽回は難しくなります

- 持っている資産の価値が大きく下落してしまうと、損失を取り戻すことが非常に難しくなってしまいます。
- 投資対象として米国株式のリターンは魅力的ですが、数年ごとに発生する大幅な下落を避けることは困難です。

## 「大きな下落」の挽回は難しい

【資産の損失率と損失を挽回する上昇率の関係】

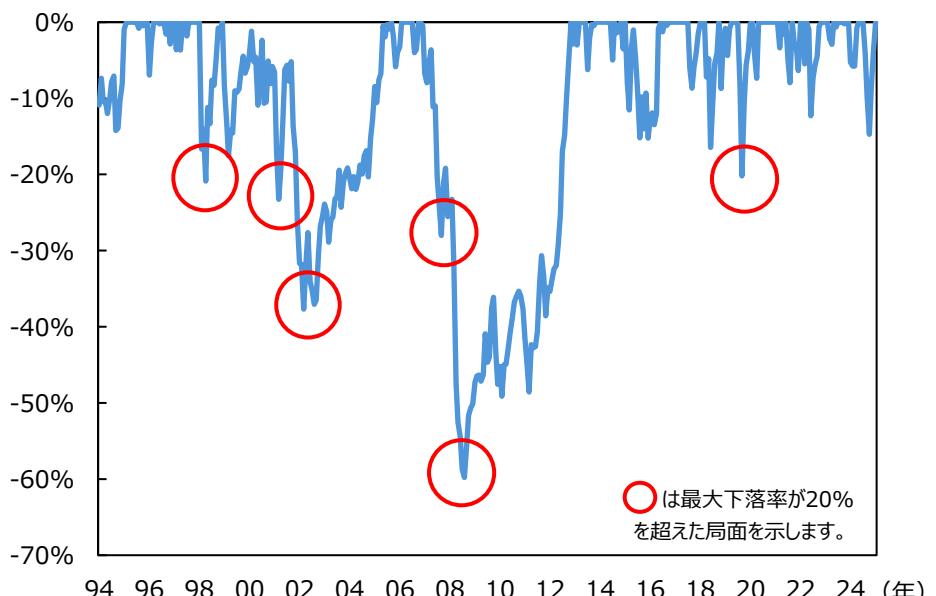


(出所) キャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来的の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 数年ごとの大幅な下落

【米国株式の最大下落率\*（円ベース）】



\*最大下落率…投資商品の価格がある期間中にどれだけ下がったかを示す指標です。  
具体的には、価格が最も高かった時点（ピーク）から最も低かった時点（ボトム）までの下落率を計算したものです。

(注) データは1994年6月～2025年7月（月次）。米国株式はS&P500指数（SPDR S&P500 ETF）。

(出所) Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成



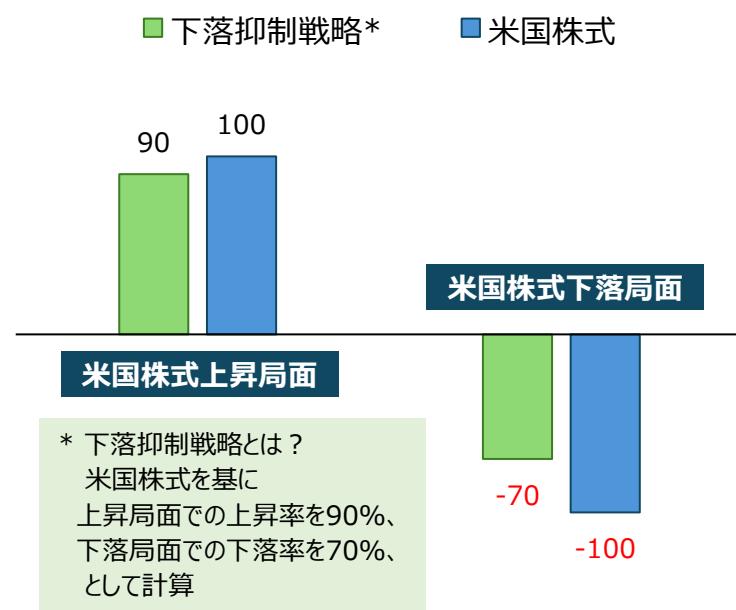
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「大きく負けない運用」は資産を増やす力を持っています（1）

- 一般的には、相場を予想して「大きく勝つ運用」を目指す傾向があります。
- 一方、「大きく負けない運用」は資産を増やす力を持っています。

## 下落抑制戦略

【上昇局面と下落局面の追隨率】



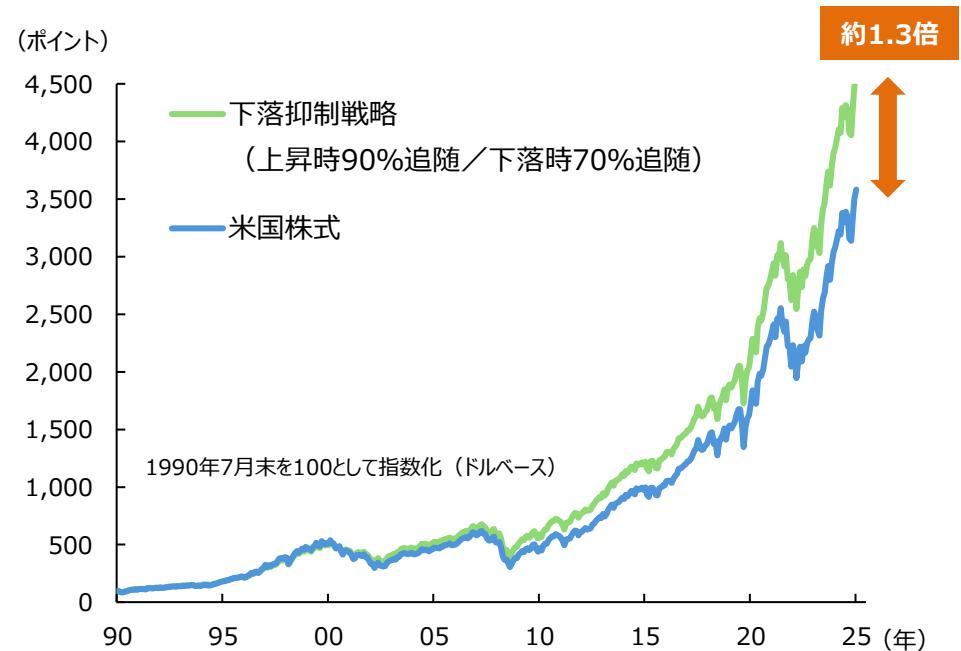
(注) データは1990年7月～2025年7月（月次）。ドルベース、幾何平均リターン。

米国株式はS&P500指数（SPDR S&P500 ETF）。

（出所）Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

## 「大きく負けない運用」の効果

【米国株式と下落抑制戦略の推移】



上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



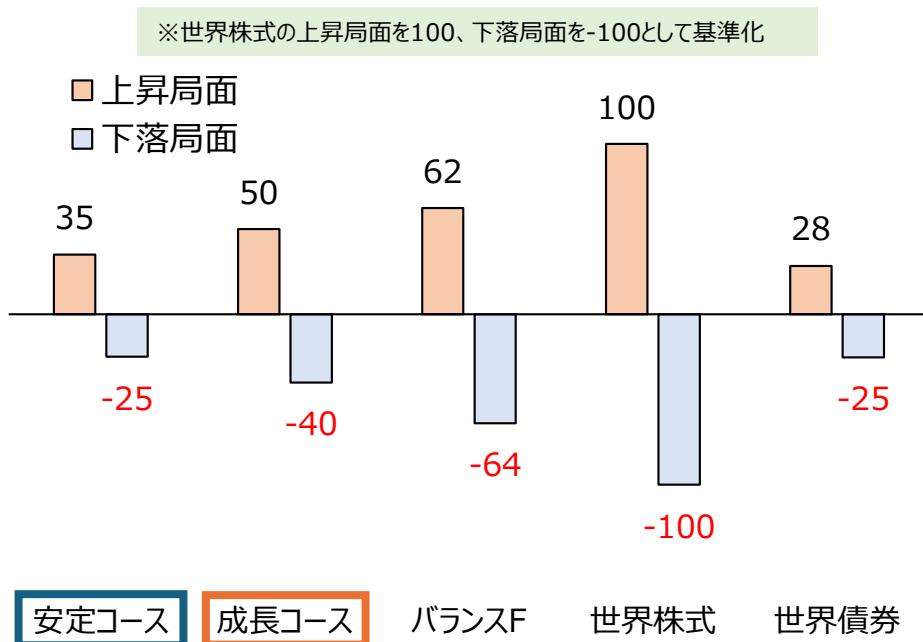
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「大きく負けない運用」は資産を増やす力を持っています（2）

- オーケストラ ファンドは「大きく負けない運用」を目指します。
- 「大きく勝つ運用」に比べて遠回りに見えますが、「大きく負けない運用」は資産を増やす力を持っています。

## 守りを重視する資産運用

### 【各資産の局面別追随率】



※ 世界株式、世界債券、バランスFの追隨率は過去の実績ですが、2021年11月までの安定コースと成長コースは、投資ファンドの組入比率によるポートフォリオのシミュレーション結果であり、実績ではありません（すべての運用関連費用控除後ベース）。

(注) データは2008年3月～2025年7月（月次）、円ベース。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「大きく負けない運用」を目指す

### 【各資産のリスク・リターン特性と最大下落率】

	リスク・リターン特性（年率換算値）			最大下落率		
	リスク	リターン	シャープレシオ	世界金融危機*	コロナ危機*	2022年～
安定コース	6.8%	5.9%	0.87	-15.0%	-3.5%	-8.2%
成長コース	9.1%	7.7%	0.85	-20.0%	-6.9%	-10.6%
世界株式	19.2%	10.4%	0.54	-54.9%	-21.6%	-11.0%
世界債券	7.5%	3.8%	0.51	-18.2%	-2.5%	-7.1%
バランスF	12.7%	6.3%	0.50	-37.8%	-11.8%	-8.5%

※ バランスFは①世界株式（ACWI）、②全米債券（AGG）、③世界国債（除く米国、BWX）の各ETFで構成。

組入比率は①50%、②及び③を各25%、信託報酬は年1%と仮定。

※ 世界債券は②及び③を各50%保有したものとして計算。

※ 安定/成長の各コースは採用ファンドの一部にシミュレーションデータを含む（すべての運用関連費用控除後ベース）。

(注) データは2008年3月末～2025年7月末、円ベース。

\*世界金融危機：2008年4月末～2009年2月末。2008年9月15日の

米大手投資銀行（リーマン・ブラザーズ）の破綻を契機として発生した世界的な金融危機。

\*コロナ危機：2019年12月末～2020年3月末。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

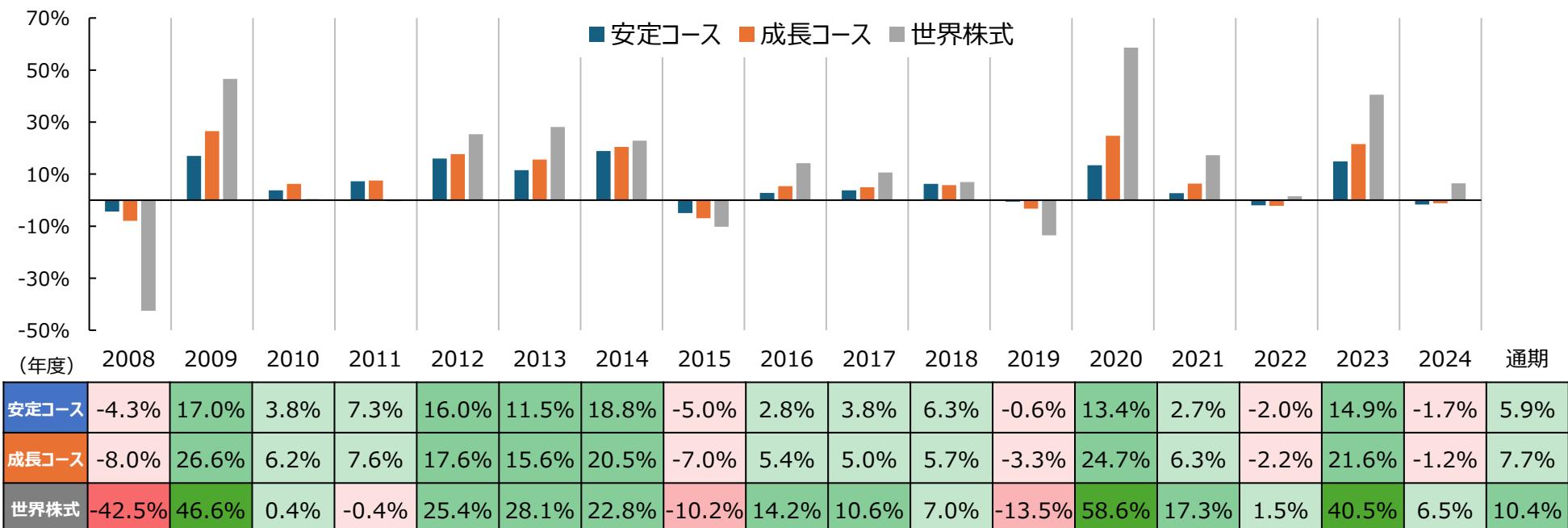


最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 資産運用では「大きなロス」を防ぐことが重要です

- オーケストラ ファンドは世界株式の上昇局面で大きくは勝てません。  
但し、下落局面では負けが相対的に小さくなる傾向があります。
- 資産運用では「**大きなリターン**」を得ることより「**大きなロス**」を防ぐことが**重要**です。

## パフォーマンスのシミュレーション（期間別）



\*表中のロース系統はマイナスを示す。■は最大。■は2桁のマイナス。■は1桁のマイナス。緑系統はプラスを示す。■は40%以上のプラス。■は2桁のプラス。■は1桁のプラス。

(注) データは2008年度～2024年度。年度は当年の4月1日から翌年3月末日です。上記のグラフ中、全期間の世界株式と2021年12月からの安定コースと成長コースは実績値です。

2021年11月までの安定コースと成長コースは投資ファンドの組入比率によるポートフォリオのシミュレーション結果であり実績ではありません（すべての運用関連費用控除後ベース）。

ファンダの入れ替え等により上記のシミュレーション結果は変わることがあります。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



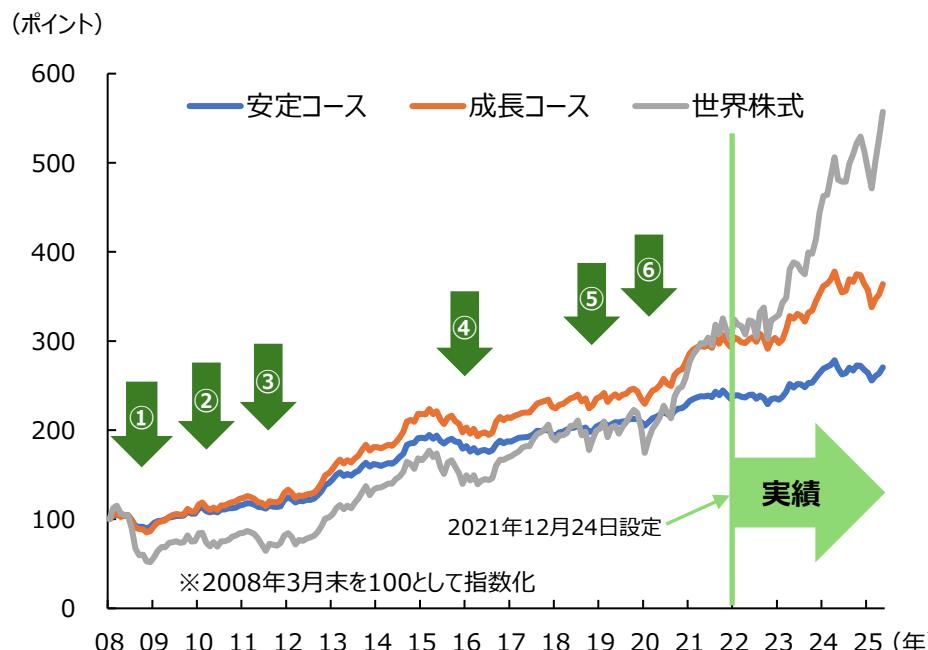
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「大きなリターン」を得ることよりも「大きなロス」を防ぐことを重視します

- シミュレーション結果では、繰り返される市場危機を乗り越えてきました。

## オーケストラ ファンドの推移

【各資産の推移（シミュレーション期間を含む）】



(注) データは2008年3月～2025年7月（月次）、円ベース。

\*安定/成長の各コースは採用ファンドの一部にシミュレーションデータを含む  
(すべての運用関連費用控除後ベース)。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

## 2008年以降に6度の「危機」

【各資産の下落率と回復期間】

局面	安定コース		成長コース		世界株式	
	下落率	回復期間	下落率	回復期間	下落率	回復期間
① 世界金融危機	-8.2%	5カ月	-14.8%	5カ月	-54.0%	51カ月
② ギリシア危機	-4.7%	6カ月	-7.6%	6カ月	-18.2%	8カ月
③ 欧州債務危機	-5.1%	5カ月	-9.0%	5カ月	-25.8%	15カ月
④ ブレグジット	-9.1%	11カ月	-14.7%	16カ月	-21.4%	12カ月
⑤ 米中貿易摩擦	-4.2%	3カ月	-7.6%	11カ月	-15.7%	11カ月
⑥ コロナ危機	-1.0%	1カ月	-2.7%	1カ月	-21.6%	5カ月
【単純平均値】	-5.4%	5カ月	-9.4%	7カ月	-26.1%	17カ月

※下落率は各危機発生期間の非年率値

※回復期間は危機発生直前水準を回復するに要した期間

※期間は2008年3月末～2025年7月末の月次データに基づく

※安定/成長の各コースは採用ファンドの一部にシミュレーションデータを含む（すべての運用関連費用控除後ベース）

＜「危機」の期間＞

①2008年4月末～2009年2月末、②2010年4月末～2010年8月末、③2011年4月末～2011年9月末、

④2015年5月末～2016年6月末、⑤2018年9月末～2018年12月末、⑥2019年12月末～2020年3月末。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「オーケストラ ファンド」の保有期間別リターン比較

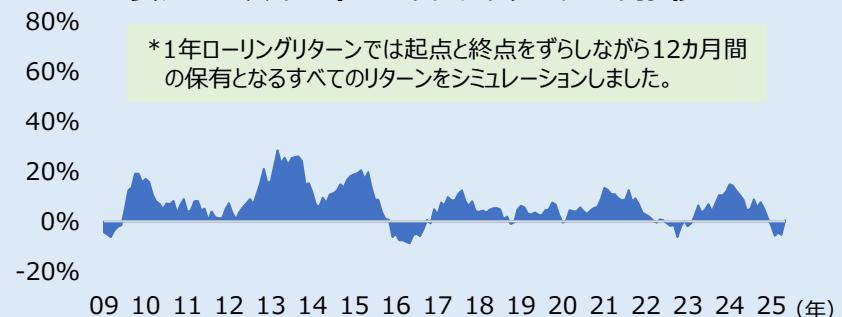
- シミュレーションデータを用いて、オーケストラ ファンドの（1年/3年）期間のリターンを検証しました。
- オーケストラ ファンドのリターン（1年/3年）は比較的安定して推移してきました。

## 保有期間1年のリターン

## 保有期間3年のリターン

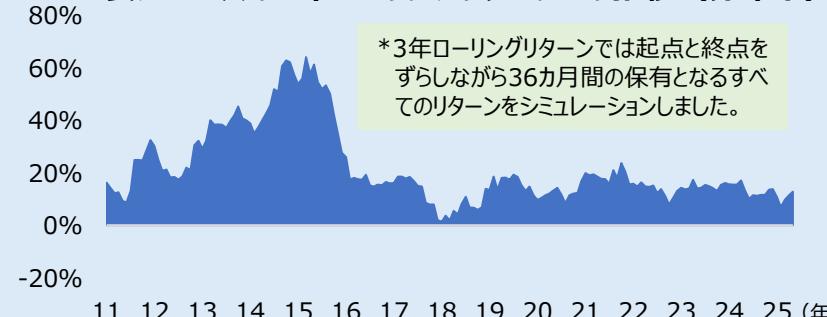
安定コース

### 安定コースの1年ローリングリターン\*の推移



(注) データは2009年3月末～2025年7月末、円換算リターン。

### 安定コースの3年ローリングリターン\*の推移（非年率）



(注) データは2011年3月末～2025年7月末、円換算リターン。

成長コース

### 成長コースの1年ローリングリターンの推移



### 成長コースの3年ローリングリターン（非年率）



(注) 2021年11月までは投資ファンドの組入比率によるポートフォリオのシミュレーション結果であり実績ではありません（すべての運用関連費用控除後ベース）。

(出所) 各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 伝統的資産の相関性は長期的に高い傾向があります

- 株式、債券、リートなど**伝統的資産の値動きの相関性は、長期的に高い傾向**があります。

## 各資産の相関係数

	米国株式	世界株式	国内株式	米国REIT	ハイ・イールド債券	世界債券	新興国債券
米国株式	1.00						
世界株式	0.97	1.00					
国内株式	0.80	0.83	1.00				
米国REIT	0.80	0.81	0.63	1.00			
ハイ・イールド債券	0.84	0.86	0.74	0.78	1.00		
世界債券	0.74	0.75	0.66	0.62	0.78	1.00	
新興国債券	0.77	0.80	0.68	0.70	0.83	0.85	1.00

(注) データは2008年3月～2025年7月（月次）、円ベース。

(出所) Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



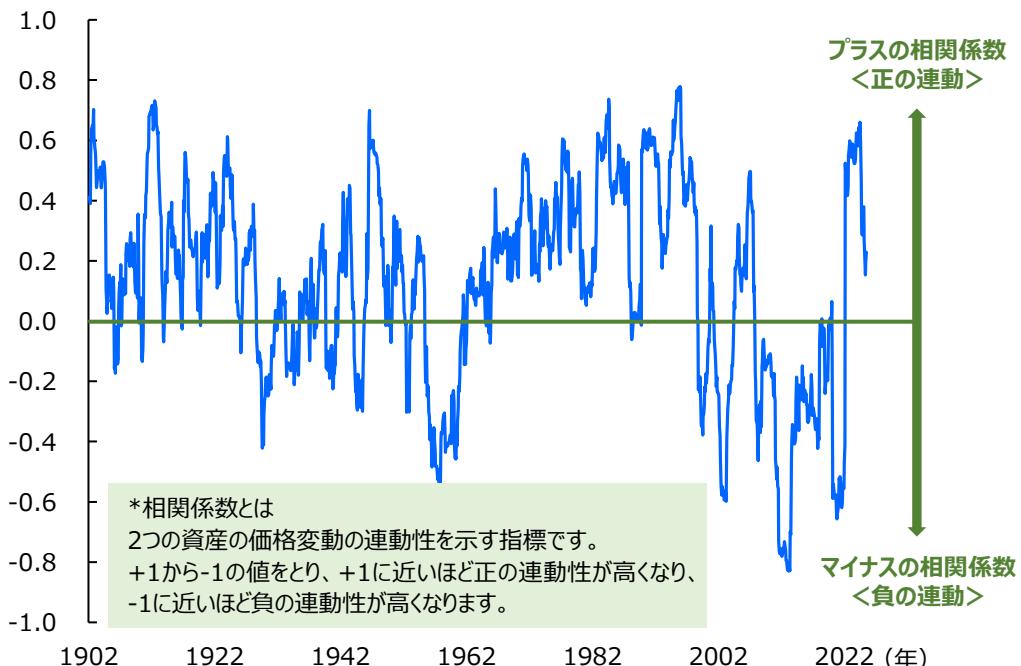
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 伝統的資産の価格変動は類似する傾向があります

- 市場危機時には、特に値動きが同じ方向となり易い（分散効果がなかなか機能しない）傾向があります。
- 2008年の「世界金融危機\*」時には資産間の相関が高まり、伝統的資産では国内外への分散効果が働きませんでした。\*世界金融危機：2008年9月15日の米大手投資銀行（リーマン・ブラザーズ）の破綻を契機として発生した世界的な金融危機。

## 意外と類似する株式と債券の動き

【米国株式と米国10年国債の相関係数\*】

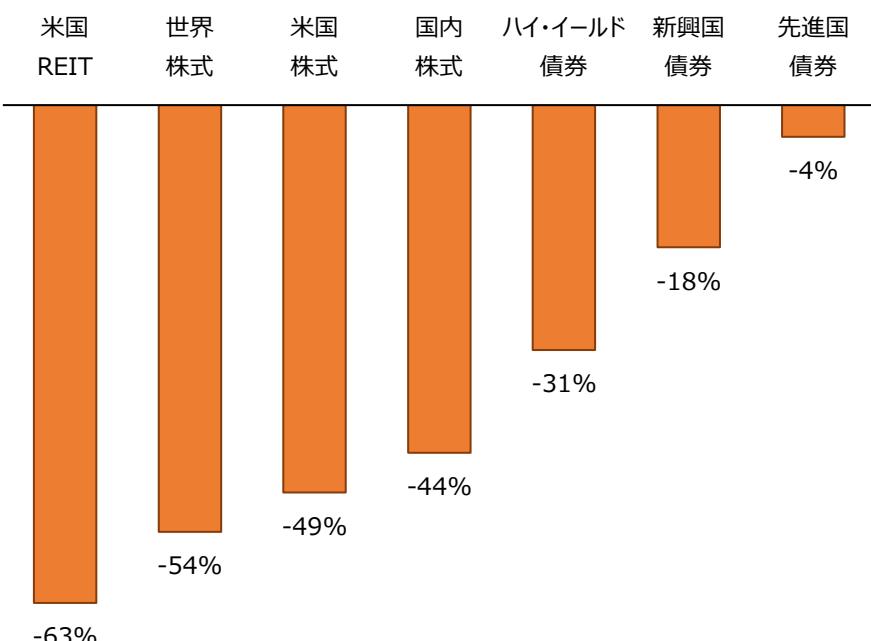


(注) データは1902年1月～2025年7月（月次）。インフレ調整後トータルリターン。

(出所) Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

## 危機時には同じ方向に動く

【「世界金融危機」時の各資産の下落率】



(注) データは2008年4月末～2009年2月末。

(出所) Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

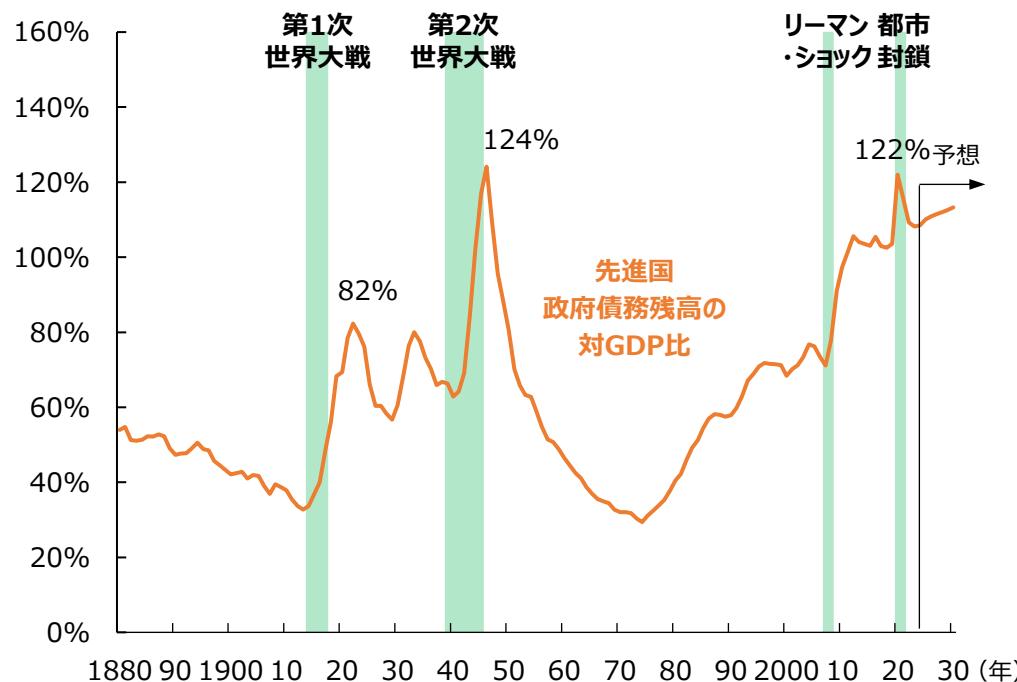


最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 先進国の政府債務残高は高水準で推移

- 先進国の政府債務残高は2020年に120%を超え、第2次世界大戦当時の水準に迫る規模となりました。
- 国債のリターンはいつも安定しているわけではありません。
- 特定の資産への集中投資は常に避けるべきと思われます（国債＝安全資産と過度に思い込まない）。

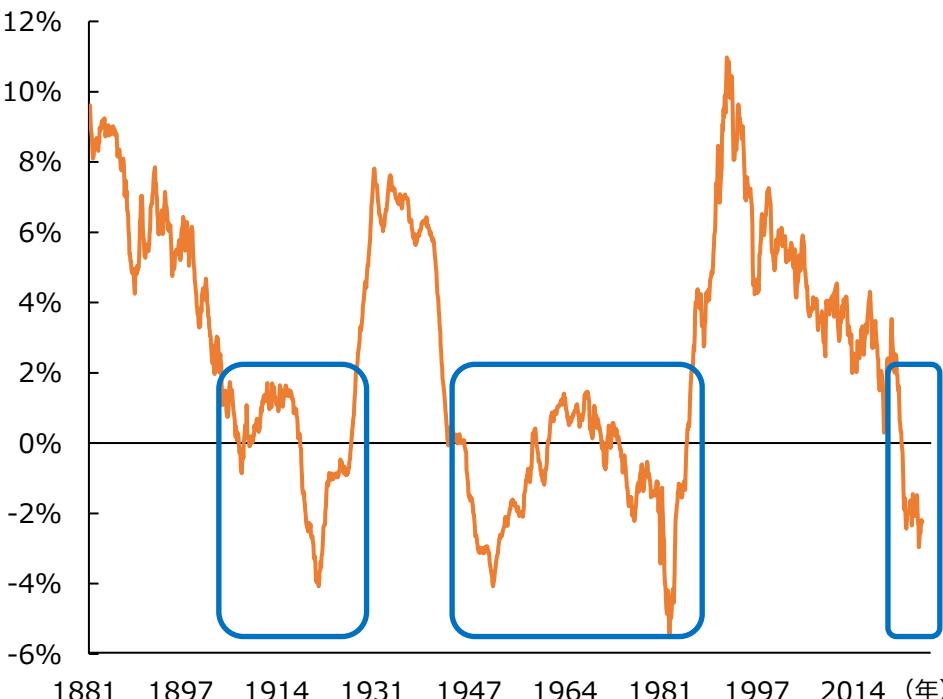
先進国の政府債務残高（対GDP）の推移  
(1880年～2030年)



(注) 2025年以降はIMF予想。

(出所) 国際通貨基金（IMF）等のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

米国10年国債のトータル・リターン（物価調整後）  
(1881年1月～2025年8月)



(注) 10年ローリングリターン（ドルベース、年率換算値）。□はトータル・リターンが2%以下の局面。

(出所) Robert J. Shiller「Stock Market Data Used in "Irrational Exuberance" Princeton University Press, 2000, 2005, 2015, updated」、Bloombergのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来的の動向やファンダの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

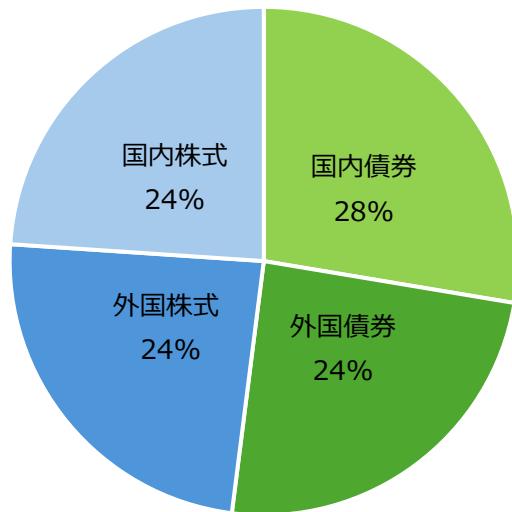


最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 代替資産の組込みで変動を抑え、安定した成果が期待できます

- 株式や債券と異なる値動きをする代替資産を組込むことでポートフォリオの変動を抑え、安定した成果が期待できます。
- 米国の大学基金では、資産運用が高度化されており、安定したパフォーマンスを長期で実現しています。
- 日本の大学基金も資産運用の高度化に取り組みはじめており、今後はオルタナティブ資産のウエイトが増加すると思われます。

**GPIFの資産配分**  
【GPIF=年金積立金管理運用独立行政法人】



※ オルタナティブ資産の年金積立金全体に占める割合は  
1.65%（基本ポートフォリオでは上限5%）

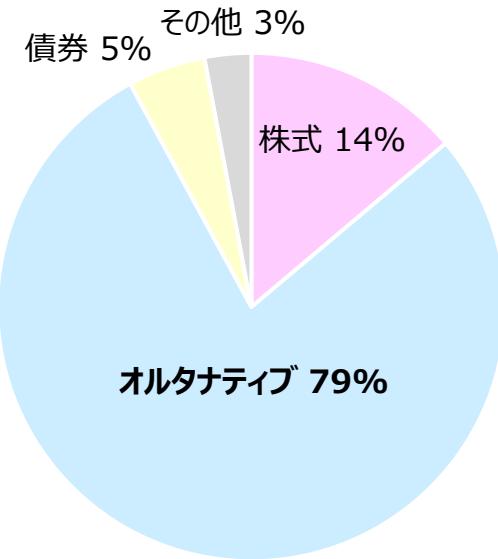
(注) 2024年12月末時点。

(出所) GPIFのホームページを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



**米ハーバード大学の資産配分**



\*オルタナティブとは  
上場株式や債券などの代替となる資産や戦略のことです。  
収益機会や価格変動リスクの低減を図るために活用されます。

(注) 2024年6月末時点。

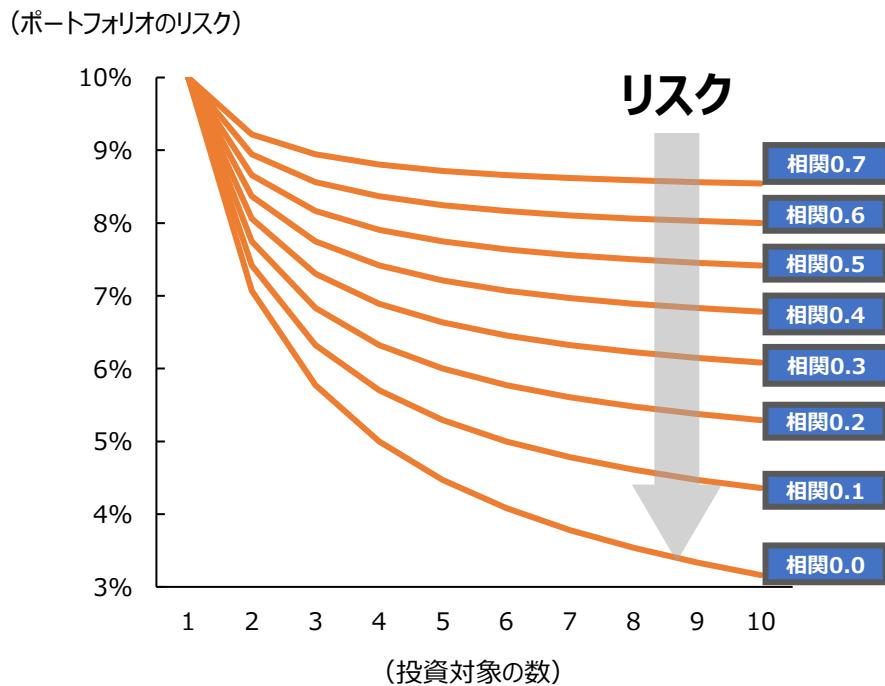
(出所) Harvard Management Companyのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 伝統的資産以外の戦略を探すことが重要です

- 伝統的資産に加えて、相関性の低い「オルタナティブ」戦略が必要です。
- 伝統的資産との相関が低い戦略は、ポートフォリオ全体のリスクを大きく低下させる効果があります。

## 投資対象の「相関」をイメージ 【リスクと相関の関係性】



(出所) キャピタル アセットマネジメント作成

## 世界の投資家の運用手法をご提供

ポートフォリオには株や債券と相関の低い「オルタナティブ」投資が有効です。しかし、個人投資家が直接投資することは困難です。それを、公募投信で提供するのが「オーケストラ ファンド」です。

	国内公募投資信託 【約6,000本】	国内私募投資信託 【約6,000本】	海外ファンド 【40万本超】
個人投資家	○	×	×
オーケストラ ファンド	○	○	○

(出所) キャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



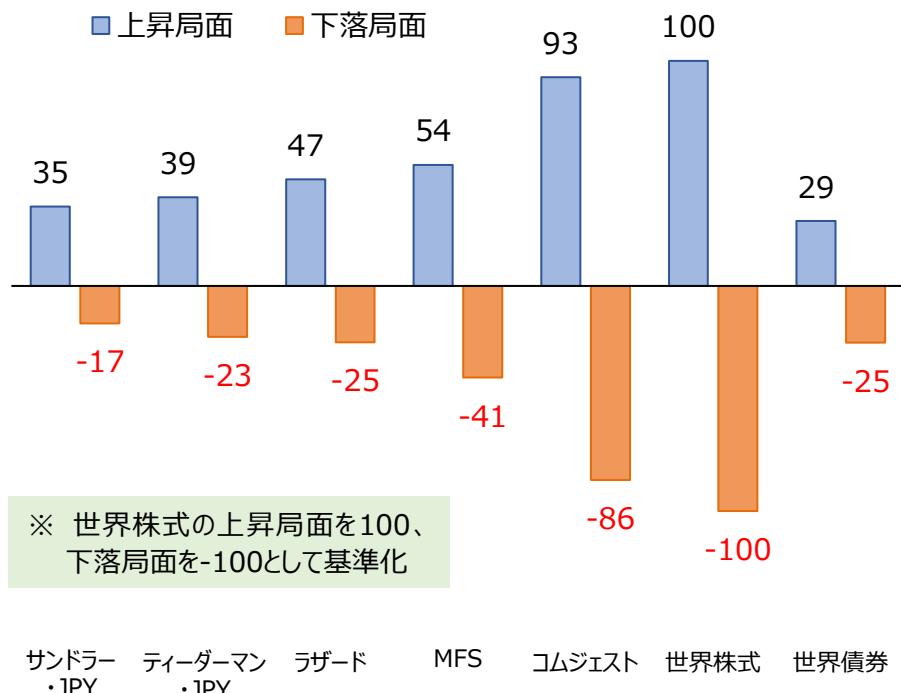
最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「大きく負けない」ことを最重視する戦略が存在します

- 国内私募投信や海外ファンドには「大きく負けない」ことを最重視する戦略が存在します。
- 「買い持ち」に加えて「売り持ち」を活用する、このような戦略を総称し「オルタナティブ」と呼びます。

## 「大きく負けない戦略」

【各ファンド、資産の下落率】



(注) データは2008年3月～2025年7月（月次）、円ベース。

各ファンドはすべての運用関連費用控除後ベース。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

## 相対的に高い運用効率

【各ファンド、資産のリスク・リターン特性、投資対象と特徴】

ファンド	リスク	リターン	シャープ・レシオ	投資対象	特徴*
サンドラー・JPY (オルタナティブ)	11.3%	7.9%	0.70	世界の株式	ロング・ショート
ティーダーマン・JPY (オルタナティブ)	11.2%	7.8%	0.70	世界の株式	イベント・ドリブン
ラザード (オルタナティブ)	11.8%	10.0%	0.85	海外転換社債等	CBアービトラージ
MFS (株式)	10.2%	8.6%	0.84	世界の株式と債券	株式と社債の選別投資
コムジェスト (株式)	17.4%	10.9%	0.63	世界の株式	成長株
世界株式	19.2%	10.4%	0.54	-	-
世界債券	7.5%	3.8%	0.50	-	-

\*特徴 ロング・ショート：買い（ロング）と売り（ショート）を組み合わせて超過収益を狙う戦略。

イベント・ドリブン：M&Aや再編などの企業イベントを収益機会とする戦略。

CBアービトラージ：CB（転換社債）と株価の価格差を活かす戦略。

(注) データは2008年3月末～2025年7月末、円ベース。ファンドの（ ）内は分類。

※ 一部期間は各ファンドのマザーファンドデータ（すべての運用関連費用控除後ベース）。

※ MFSはオプション等で下落に備えたヘッジ取引を行うケースがあります。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

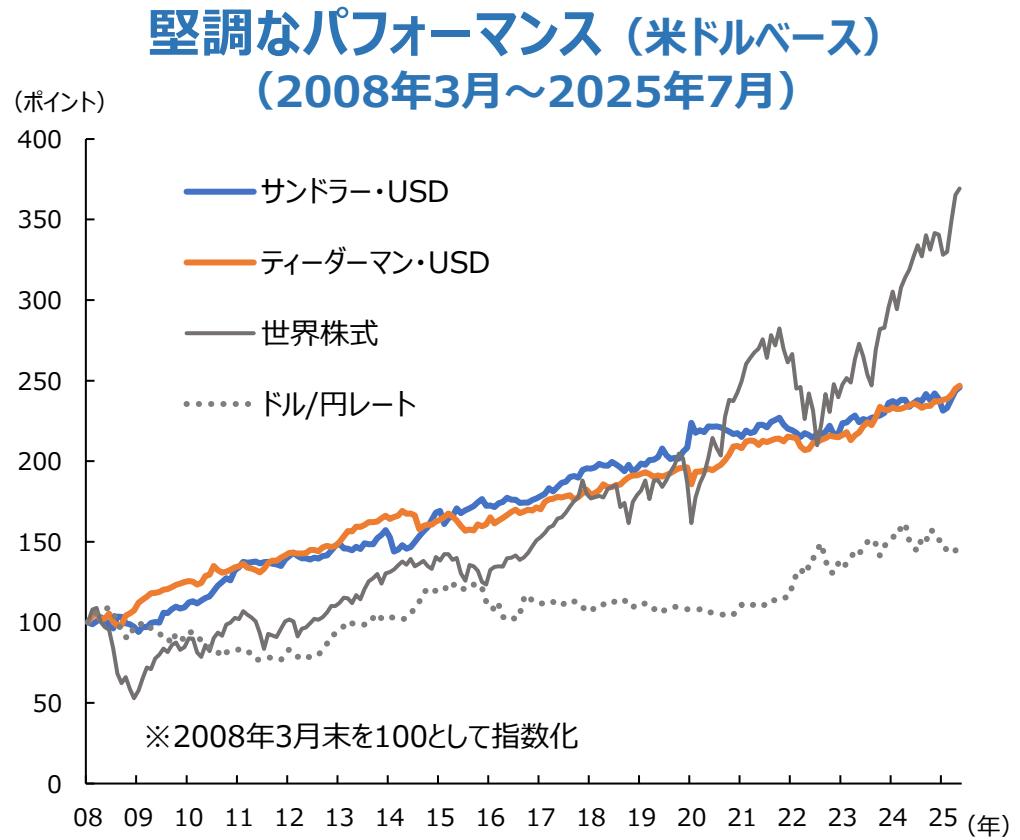
上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 伝統的資産と低相関の戦略（1）

- 「サンドラー・USD」、「ティーダーマン・USD」はいずれも世界株式のロング・ショート戦略（買い持ち+売り持ち）を行います。
- 世界株式や世界債券、ドル/円レートとの相関が低く、分散効果が期待できます。



(注) ファンドはすべての運用関連費用控除後ベース。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

## 運用実績（米ドルベース）

ファンド	年率換算値			最大下落率		
	リスク	リターン	シャープ レシオ	世界金融 危機	コロナ 危機	2022年～
サンドラー ・USD	6.1%	5.3%	0.87	-6.8%	-3.1%	-5.7%
ティーダーマン ・USD	5.0%	5.4%	1.08	-7.3%	-5.3%	-3.9%
世界株式	16.8%	7.8%	0.46	-51.4%	-21.0%	-25.7%
世界債券	6.5%	1.4%	0.21	-8.9%	-2.1%	-24.9%

## 各ファンドの相関係数

ファンド	サンドラー ・USD	ティーダーマン ・USD	世界株式	世界債券	ドル/円レート
サンドラー ・USD	1.00				
ティーダーマン ・USD	-0.17	1.00			
世界株式	-0.04	0.44	1.00		
世界債券	-0.02	0.28	0.53	1.00	
ドル/円レート	-0.07	-0.00	-0.02	-0.64	1.00

(注) データは2008年3月末～2025年7月末（月次）、米ドル建て。

ファンドはすべての運用関連費用控除後ベース。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

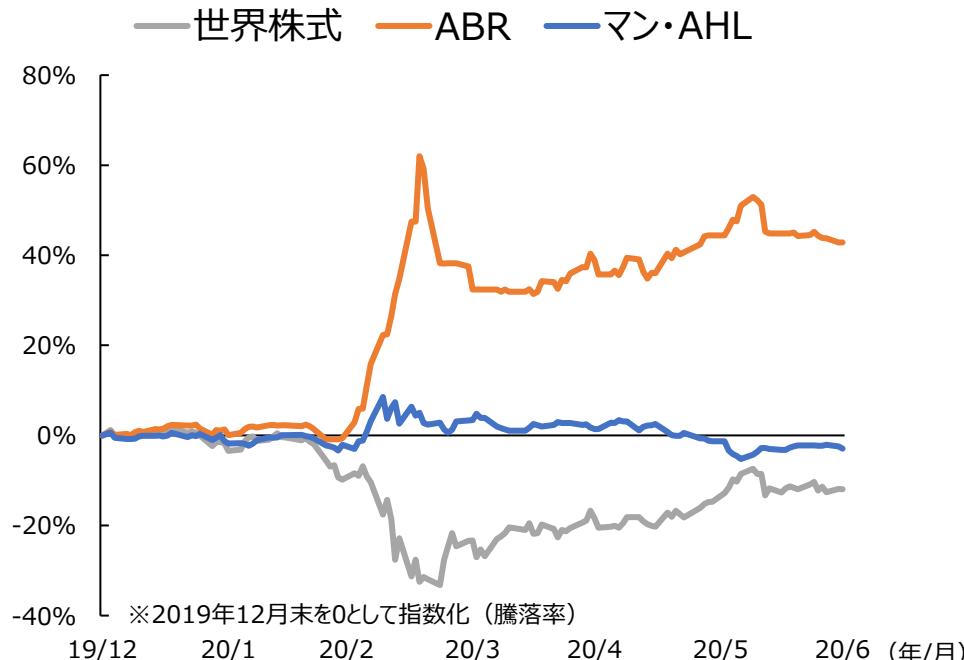


最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 伝統的資産と低相関の戦略（2）

- 国内私募投信や海外ファンドには、世界株式と低相関の戦略（オルタナティブ）が存在します。
- 「資産の分散」に加えて、「戦略の分散」も重要な考え方です。

## 「コロナ危機」時の動き (2019年12月～2020年6月)



(注) データは2019年12月～2020年6月（月次）。インフレ調整後リターン。

ファンドはすべての運用関連費用控除後ベース。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

## 各ファンドの相関係数

本来「分散投資」とは、低い相関関係にある資産を組み合わせて投資することです。暴落や長期に低迷する相場環境でも損失を少なく抑える手法が必要です。

ファンド	マン・AHL	ABR	世界株式
マン・AHL	1.00		
ABR	0.09	1.00	
世界株式	-0.11	0.37	1.00

(注) データは2008年3月末～2025年7月末（月次）、円ベース。

ファンドはすべての運用関連費用控除後ベース。マン・AHLは円ヘッジ後。

(出所) Bloomberg及び各運用会社のデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 世界中のファンドを厳選し、「オーケストラ」を構築します

- オーケストラ ファンドは、世界から厳選したファンドを組み合わせ、楽団のように調和させた“ファンド・オブ・ファンズ”です。
- ひとつひとつの楽器 = ファンドが調和し、全体として美しいハーモニー“長期安定運用”的実現を目指します。

## 株式ファンド・ETF



コムジェスト



ディメンショナル



配当貴族ETF



MFS

## オルタナティブファンド

### 大きく負けない戦略

[世界株式との相関が低い戦略]



ラザード



ティーダーマン  
(USD/JPY)



サンドラー  
(USD/JPY)

### トレンドフォロー戦略

[世界株式との相関は相対的に高いものの、ボラティリティを抑えた戦略]



グラハム



マン・AHL



ABR

## 債券ETF



米国物価連動国債  
ETF

先物等でヘッジを行い  
収益を最大化する  
世界債券戦略



ノムラGDBF

(出所) キャピタル アセットマネジメント作成

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

※上記はイメージです。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「オーケストラ ファンド」が採用するファンドの主な 2 つの特徴

## 特徴 1：大きく負けない戦略～株式との相関が低い戦略

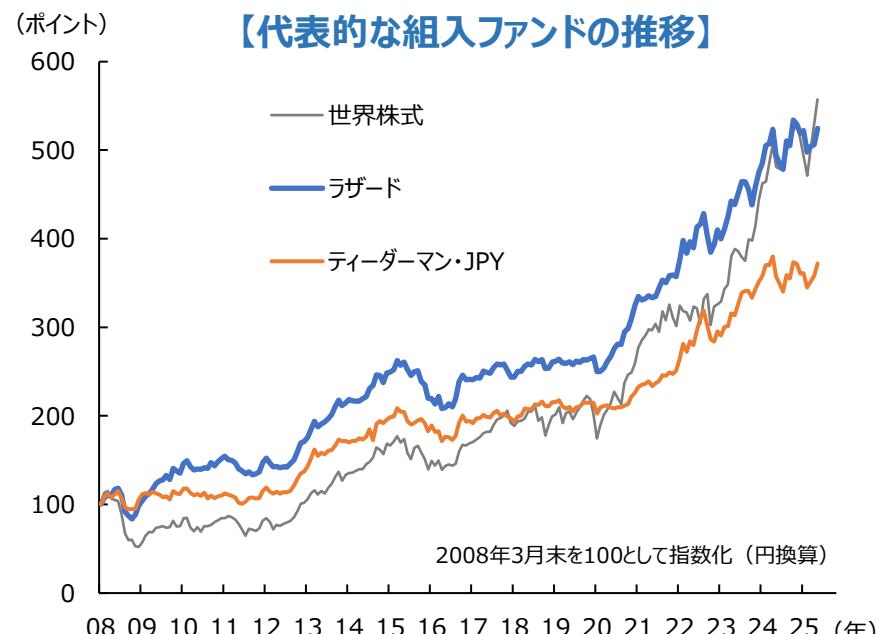
＜オルタナティブ＞ ラザード、ティーダーマン（USD/JPY）、サンドラー（USD/JPY）、＜株式＞ MFS

## 特徴 2：トレンドフォロー戦略～株式との相関は相対的に高いものの、ボラティリティを抑えた戦略

＜オルタナティブ＞ グラハム、マン・AHL、ABR

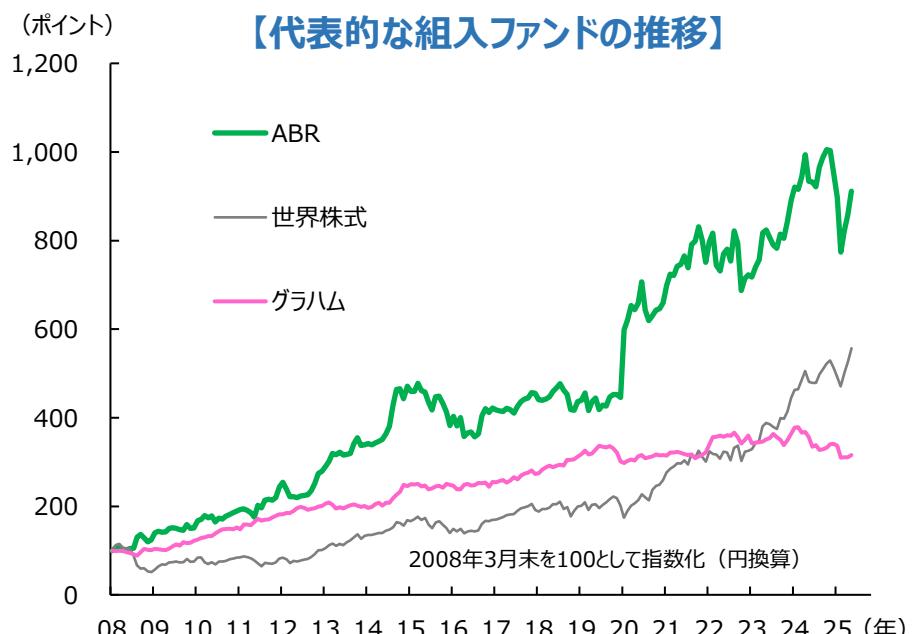
### 大きく負けない戦略

#### 【代表的な組入ファンドの推移】



### トレンドフォロー戦略

#### 【代表的な組入ファンドの推移】



上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 投資対象ファンドの運用会社ご紹介（除くETF）

## コムジェスト・アセットマネジメント

設立	運用資産残高
----	--------

1985年 約4.5兆円 (24年12月末)



## ディメンシヨナル・ファンド・アドバイザーズ

設立	運用資産残高
----	--------

1981年 約122.9兆円 (25年6月末)



## マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ

設立	運用資産残高
----	--------

1924年 約95.0兆円 (24年12月末)



## ラザード・アセット・マネジメント

設立	運用資産残高
----	--------

1970年 約34.0兆円 (25年3月末)



- 1970年にラザードの資産運用部門として設立。投資銀行で培った170余年の企業分析力を運用に生かしてきた。世界各地の拠点網とネットワークを背景に、長期視点のアクティブ運用と多彩な戦略で投資家の信頼に応えている。

(注) 各社のロゴはClearbit社。（出所）各社ホームページのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成



## アムンディ・アセットマネジメント

設立	運用資産残高
----	--------

1980年 約360.0兆円 (25年3月末)



- 1980年、フランスで誕生した初の独立系運用会社として、株式のアクティブ運用に専念。銘柄選択こそが収益の源泉との哲学を貫き、財務健全性や持続的成長力、長期の競争優位を備えた「クオリティグロース企業」へ集中投資。

## ABR ダイナミック・ファンズ

設立	運用資産残高
----	--------

2015年 約0.04兆円 (25年6月23日)



- 2015年ニューヨークで設立されたクオンツ運用の専門集団。市場混乱時に急上昇するVIX先物を活用し、状況に応じ現金や国債に切り替える戦略でリスクを制御。株式・債券・商品を動的に組み合わせ、絶対収益を追求するマルチアセット運用も展開している。

## AHL パートナーズ

設立	運用資産残高
----	--------

1989年 約27.1兆円 (24年12月末)



- 1783年創業を起源とするマン・グループ傘下で1989年に設立。AHL パートナーズは約6兆円を運用し、株式・債券・商品・通貨を横断するクオンツ・マルチアセット戦略を展開。長年培ったリスク管理力を基盤に、ロングオンリーからヘッジファンドまで幅広い投資機会を提供する。

## 野村アセットマネジメント

設立	運用資産残高
----	--------

1959年 約94.3兆円 (25年6月末)



- 1959年に設立された、日本の資産運用黎明期を支えた草分け的存在。国内投資信託市場を切り拓き、幅広い商品と運用力で資産形成をリードしてきた。現在はアジア・欧米を含む世界30拠点以上に展開し、資産運用をグローバルに展開している。

最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 「安定コース」と「成長コース」から選べます

「安定コース」 相対的にリスク度の小さいポートフォリオ。  
 「成長コース」 安定コースに比較して積極的な運用を行います。  
 ※ リスク水準の違いでコース分けを行っています。

	投資対象ファンド	ファンド名称（下線部は略称）	分類
A	コムジェスト	コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）	株式
B	ディメンショナル	ディメンショナル・ファンズ・PLC - グローバル・ターゲティッド・バリュー・ファンド JPY アキュムレーション シアーズ	株式
C	MFS	MFSメリディアン・ファンズ・ブルーデント・キャピタル・ファンド (I1 USD)	株式
D	配当貴族ETF	プロシェアーズS&P 配当貴族 ETF	株式
E	ラザード	ラザード・グローバル・インベストメント・ファンズ PLC-ラザード・ラスマア・オルタナティブ・ファンド (C Acc USD)	オルタナティブ
F	ノムラGDBF	ノムラ・ファンズ・アイルランド - グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド-I JPY ヘッジドクラス	オルタナティブ
G	ABR	MontLake コリブ UCITS プラットフォーム ICAV-ABR ダイナミック・ブレンドエクイティ＆ボラティリティ・ファンド I クラス	オルタナティブ
H	マン・AHL	マン・アンプレラ・SICAV - マン・AHL・アルファコア・オルタナティブ-日本円クラス（ヘッジ付）	オルタナティブ
I	サンドラー・USD	アムンディ・オルタナティブ・ファンズ・PLC - アムンディ・サンドラー・USエクイティ・ファンド クラスI USD	オルタナティブ
J	サンドラー・JPY	アムンディ・オルタナティブ・ファンズ・PLC - アムンディ・サンドラー・USエクイティ・ファンド クラスI JPY	オルタナティブ
K	ティーダーマン・USD	アムンディ・オルタナティブ・ファンズ・PLC - アムンディ・ティーダーマン・アービトラージ戦略ファンド クラスI USD	オルタナティブ
L	ティーダーマン・JPY	アムンディ・オルタナティブ・ファンズ・PLC - アムンディ・ティーダーマン・アービトラージ戦略ファンド クラスI JPY	オルタナティブ
M	グラハム	マネジド・ファンド/グラハム・クオンツ・マクロ・ファンド・リミテッド クラス BR2	オルタナティブ
N	米国物価連動国債 ETF	SPDR ポートフォリオ米国物価連動国債 ETF	債券

上記のデータは過去の実績や結果であり、将来の動向やファンドの運用実績等を示唆あるいは保証するものではありません。

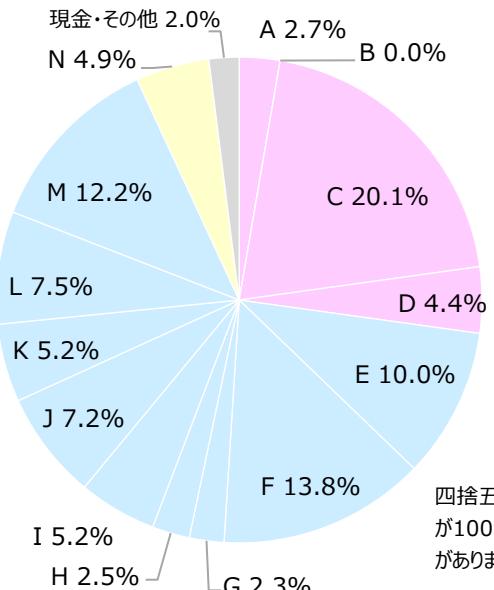
## 【各コースの資産別組入比率\*】

	株式	オルタナティブ	債券
安定コース	25%	70%	5%
成長コース	35%	65%	0%

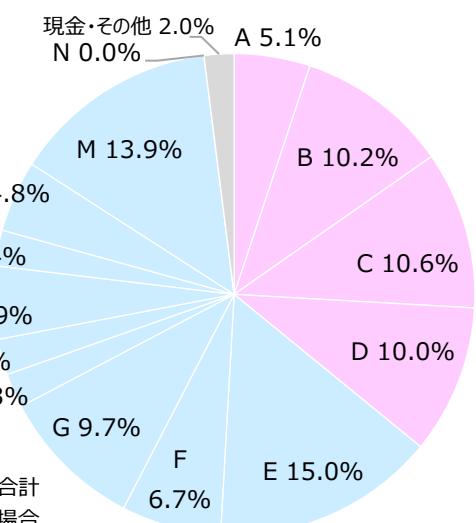
資産別組入比率は上記表の資産配分を目指し運用を行いますが、実際の資産配分とは異なる場合があります。資産配分は、1年に1回程度検証を行い、必要に応じて見直しを行います。

## 【投資対象ファンドの組入比率 2025年7月末】

### ＜安定コース＞



### ＜成長コース＞



四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

- 投資対象ファンドは定性評価やパフォーマンス等を勘案して適宜見直しを行います。その際、投資対象ファンドを組入れから外したり、新たなファンドを組入れる場合があります。
- 投資対象ファンドの組入比率は、経済環境、市場動向により見直しを行います。

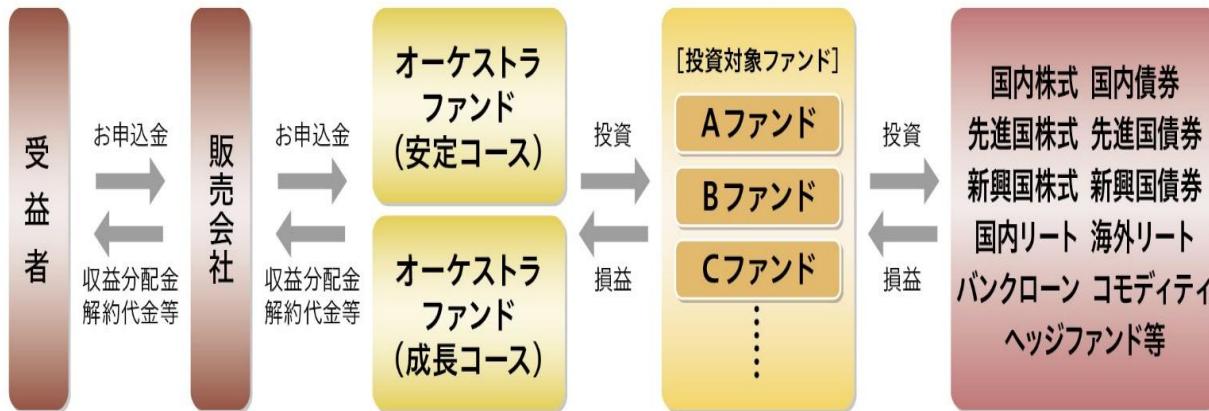


最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します 運用に当たっては、しさん設計株式会社からの投資助言を受けます

## < ファンドの仕組み >

<当ファンド>



## <ポートフォリオ構築プロセス>

### <定量評価アプローチ>

先進国アンコンストレインド運用・  
グローバル株式アクティブ運用・  
オルタナティブ戦略  
のファンド

- ・トラックレコード
- ・運用残高等

### <定性評価アプローチ>

有力運用会社への  
丹念なヒアリングによる  
有力ファンドの発掘

- ・私募ファンド
- ・運用実績等

### <定量的な> (スクリーニング)

- ・リスク、リターン、  
シャープ・レシオ
- ・危機時の  
下落水準
- ・株式等リスク性  
資産との相関等

### 投資対象 ユニバース

先進国  
アンコンスト  
レインド運用

グローバル株式  
アクティブ運用

オルタナティブ  
戦略  
(約3,000本)

### <定性的な> (スクリーニング)

- ・運用会社、運用  
担当者との面談
- ・他の組入候補  
ファンドとの  
相関確認等

### 組入候補 ファンド

20~30本  
程度

### 組入 ファンド

10本程度\*

\*経済環境・  
市場動向により、  
年1回程度を目途に  
投資配分比率を  
見直します。

助言会社：しさん設計株式会社

代表取締役、CIO 鈴木頼長

慶應義塾大学 経済学部卒業後、三井信託銀行  
(現：三井住友信託銀行)と野村アセットマネジメントにて、企業調査アナリスト、及び運用(クオンツ運用、ストラテジー策定総責任者)に従事。大手IFA法人を経て、2021年4月、しさん設計株式会社を設立。

機関投資家だけがアクセスできる高度な金融理論を開放することで、日本の個人投資家の「しさん設計」に貢献するための会社です。

しさん設計株式会社

〒160-0022

東京都新宿区新宿2-1-14 エレメンツ新宿ビル502

43 しさん設計

登録 関東財務局長(金商)第3298号

一般社団法人 日本投資顧問業協会

会員番号 012-02974

資本金：7百万円 設立：2021年4月



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 手続・手数料（安定コース）／（成長コース）

## お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から0.1%（信託財産留保額）を控除した価額となります。
換金代金	原則、換金申込受付日から起算して9営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払います。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの金融商品取引所または銀行の休業日には申込の受付を行いません。
信託期間	無期限とします。（設定日：2021年12月24日）
決算日	原則、12月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、2025年6月末現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合には、変更される場合があります。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用			
購入時手数料	購入価額に <b>3.3%（税抜3.0%）を上限</b> として、販売会社がそれぞれ定める手数料率を乗じて得た額とします。 「自動継続投資コース」により収益分配金を再投資する場合の申入手数料は、無手数料とします。	販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して <b>0.1%</b>		
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 <b>年1.375%（税抜1.25%）</b> の率を乗じた金額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計算され、ファンドの毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。 信託報酬=運用期間中の基準価額 × 信託報酬率	当ファンド	支払先 内訳(税抜) 主な役務
		委託会社	年0.62% 委託した資金の運用の対価
		販売会社	年0.57% 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
		受託会社	年0.06% 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
投資対象とする 投資信託証券	<b>純資産総額に対して 年0.825%～1.025%程度 (税込)</b>		投資対象とする投資信託証券に係る信託財産の運用、基準価額の計算、運用財産の管理等の対価
実質的な負担	<b>純資産総額に対して年2.2～2.4%±0.2%程度（税込）</b> ※投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。		
その他の費用・手数料	有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、ファンドの監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。		

※ファンドの費用の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

<委託会社> キャピタル アセットマネジメント株式会社

<受託会社> 三井住友信託銀行株式会社

<販売会社> 26ページに記載の販売会社をご覧ください。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界各国の債券、株式、通貨、それらに関連するデリバティブ取引等の金融商品など値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。当ファンドに生じた利益および損失は、すべて投資家の皆様に帰属することになります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額は、主に以下の要因により、変動することが想定されます。

### 主な変動要因

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。

#### ■ 株式の価格変動リスク

当ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ■ 為替変動リスク

投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

#### ■ 金利変動リスク

債券、バンクローン等の価格は、一般的に金利低下（上昇）した場合は値上がり（値下がり）します。なお、債券、バンクローン等が変動金利である場合、こうした金利変動による価格の変動は固定金利の場合と比べて小さくなる傾向があります。また、発行者・債務者等の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。加えて、物価連動債券の価格は、物価変動および将来の物価変動に対する市場予想の変化によっても変動します。債券、バンクローン等の価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

#### ■ リートの価格変動リスク

リートの価格は、不動産市況（不動産稼働率、賃貸料、不動産価格など）、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制などの変更、災害などの要因により変動します。また、リートおよびリートの運用会社の業績、財務状況の変化などにより価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

#### ■ 商品（コモディティ）の価格変動リスク

商品の価格は、需給関係や為替、金利変動等の様々な要因により大きく変動します。需給関係は、天候、作況、生産国（産出国）の政治、経済、社会情勢の変化等に影響を大きく受けます。商品価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。



# 投資リスク（続き）

## ■ ヘッジファンドの運用手法にかかるリスク

投資対象ファンドにおいては、直接もしくは実質的に現物有価証券、デリバティブや為替予約取引等の買建てや売建てによりポートフォリオを組成することがあり、買い建てている対象が下落した場合もしくは売り建てている対象が上昇した場合に損失が発生し、ファンドの基準価額が影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドの純資産総額を上回る買建て、売建てを行う場合があるため、投資対象ファンドの基準価額は現物有価証券に投資する場合と比べ大きく変動することがあり、投資元本を割り込むことがあります。ヘッジファンドのパフォーマンスは、通常、運用者の運用能力に大きく依存することになるため、市場の動向に関わらず、損失が発生する可能性があります。

## ■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

## ■ 信用リスク

有価証券を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の有価証券等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。

## ■ 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該有価証券の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

## ■ 解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク

解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※なお、上記に記載するリスクは、当ファンドに係わる全てのリスクを完全に網羅しておりませんので、ご留意ください。

## その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付が中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 収益分配に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

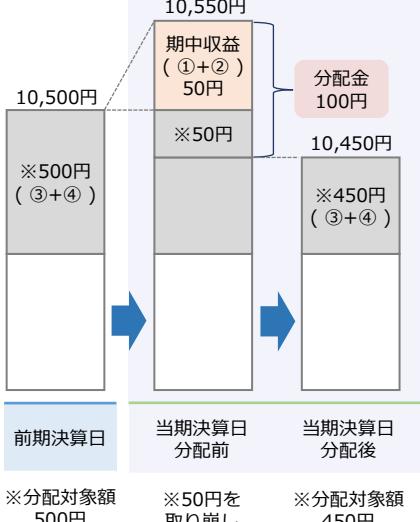
投資信託で分配金が  
支払われるイメージ



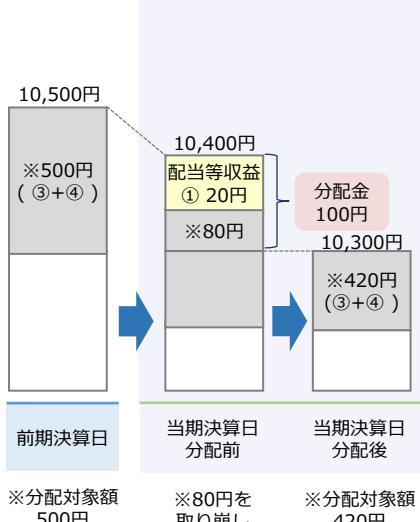
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

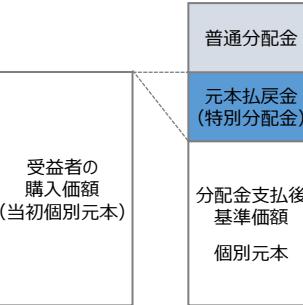


前期決算日から基準価額が下落した場合

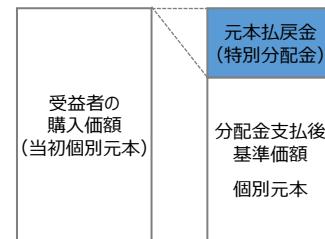


受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の  
一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の  
一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金） 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「税金」をご参照ください。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

# 販売会社（五十音順）

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	日本一般投資団体顧問業協会	一般社団法人取引人業協会	金融商品取引業協会	第一種金融法人
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第67号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第633号	<input type="radio"/>				
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商） 第3号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第44号	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第62号	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商） 第11号	<input type="radio"/>				
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第114号	<input type="radio"/>				
広田証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商） 第33号	<input type="radio"/>				
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第164号	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第165号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第61号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第195号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	



最終ページの「一般的な留意事項」を必ずご覧ください。

## 一般的知識與事項

1. 本資料は「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

2. 本資料は、分析等による実験の結果(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

3. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

4. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

5. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

6. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

7. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

8. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。

9. 本資料は、「第一・分析等による実験の結果」(その他の、将来的な実験結果の予測を含む)、完全性を保証するものではありません。本資料は、株式会社の内部用資料であり、個人の所有者である上、自身で作成されたものと見なされるべきです。